

Ⅰ 令和6年度えびの市民意識調査（自由意見※特に多かった意見）に対する市の考え方・対応方針

	意見抜粋	市の考え方・対応方針（担当課回答）
1	防災無線が聞き取りにくい。いつも聞き取れない。各家庭に防災無線が欲しい。	現在、防災行政無線の内容を屋内で受信することができる戸別受信機の全世帯配布を基本とした無線システムの変更を計画しています。令和7年度に実施設計、令和8年度～9年度に施工を予定しています。なお、フリーダイヤル（0120-23-4848）及びメール・LINE登録で防災行政無線の内容が確認できますので登録をお願いしています。
2	街灯が少ない。学校周辺も夜危ないと思う。	えびの市内の歩道にある防犯灯は、それぞれの自治会が必要な場所に設置して、電気料の支払いや管理を行っています。なお、市としては自治会が管理する防犯灯に対する設置や電気料について、一部助成を行っています。
3	自治会への若い人の参加が少ないと思う。若い人が自治会活動をしていない。	若い世代が自治会活動に参加しやすくなるような取り組みを自治会にお願いしたり、自治会で使える活動費（地域活性化奨事業）の周知を行っています。
4	市職員の教育をしてほしい（市の職員の対応が非常に悪い、モラルが低い、やる気を感じられない）	職員1人1人が市職員としての自覚を持ち、市民のみなさんに信頼され、頼りにされる職員となるよう、市独自研修や業務を通じた研修（OJT）を実施するとともに、外部研修に職員を派遣することにより、職員の資質・能力向上を図ります。
5	えびの市は素晴らしい観光資源を持ちながら、それが活かされていない、観光資源のPRがされていない。	HP・パンフレット・SNSを通し、市内外へ観光資源のPRを図ります。
6	京町温泉を活用して町の活性化を行ってほしい。もっと温泉をPRすべきである。京町に温泉があるのに寂れているため、観光資源としてもっと整備してほしい。	京町温泉マラソン大会など、イベントの開催等でPRを図ります。
7	えびの市外へ買い物へ行くことが多い。大きなスーパーや商業施設を誘致してほしい。働く場の確保にもつながると思う。	新たな働く場の確保や地域経済の活性化、地域住民の利便性を向上させるためには、大型商業施設等の必要性を感じております。市では企業立地を促進するため、立地する企業に助成金を交付しておりますが、令和7年度からは対象となる業種に「小売業」を加え、大型商業施設等の誘致を積極的に進めてまいります。
8	地元に就労するところが少ない。若い人が安心して仕事ができる環境がない。	就職説明会や企業ガイドブック等、就労企業を紹介する機会を図ります。
9	雨の日や猛暑の日等に子供を付けている屋内施設があると良いと思う。子どもが遊べる室内施設を作してほしい。子どもが遊べる場所をもっと増やしてほしい。	未就学児については市内2カ所（なかよし認定こども園敷地内、みなみえびの保育園敷地内）に地域子育て支援センターを設置しており、色々な催しや企画をされていますので、そちらの利用を案内しています。（利用料無料） 就学児については、該当する施設として児童館等が考えられますが、現在設置の予定はありません。今後については、施設整備を前提とした児童館単体での検討は困難と考えていますが、市の他の施策や事業等を含めたうえで、今後も検討していきます。
10	高校生まで医療費助成をお願いしたい。	令和7年7月1日より自己負担額をなくしたうえで、高校生相当まで助成対象を広げる予定です。

Ⅰ 令和6年度えびの市民意識調査（自由意見※特に多かった意見）に対する市の考え方・対応方針

	意見抜粋	市の考え方・対応方針（担当課回答）
11	産婦人科が欲しい。安心して埋める病院が近く無い。産婦人科がないので、安心して里帰り出産ができない。	えびの市だけでなく、近隣においても出産ができる産婦人科が限られている現状は承知しており、市としても、住み慣れた地域で出産ができるよう、産婦人科医の確保に向けた要望活動を近隣自治体と共に取り組んでいるところです。 また、妊婦が安心して出産に臨めるよう、「妊婦支援給付金」や「妊婦健康診査助成金」、「不妊治療費助成金」、「出産サポート119」等で妊婦のサポートをしています。具体的な支援策については今後もニーズ把握に努め、より有効な支援ができるよう考えていきます。
12	医療機関が充実していない。病院が少ない。夜間対応（小児科等）できる病院がない。	市民が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、広域的な地域医療体制により初期救急及び第二次救急医療体制の確保を図り、また、地域医療を絶やすことのないよう、医療関係者等との連携に努めていきます。
13	市立病院をもっと充実させてほしい（みんなが利用できるように改善してほしい、休日診療に不満がある、診察科を増やしてほしい、夜間・救急の受け入れ等）	医師体制等の都合により、必ずしもご要望に応えきれない場合もありますが、できる限り多くの皆様が利用できるように市立病院の充実を図っていきます。
14	高齢者に配慮したごみ収集を考えてほしい。将来、車が運転出来なくなったとき、ごみ出しが不安である。	ごみ出し支援につきましては、ご近所同士の助け合いのほか、自治会やボランティアによる支援、介護支援サービスによる支援が行われています。ごみ出し困難な要介護認定者等のみで構成される世帯につきましては、関係機関と調整の上、戸別収集を実施しているところです。
15	介護に力を入れてもらいたい。いつでも施設に入れいるような体制をとって欲しい。補助金が少ない。介護サービスを利用したくても経済的な理由でとどまる人もいます。	本市の65歳以上の方や介護認定を受けている方（無作為抽出）及び介護サービス事業者を対象に介護保険の実態を把握するためのアンケート調査を実施し、その結果等を反映させた「第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）」に基づき、介護保険サービスを提供しているところです。今後も国・県の動向も注視しながら、地域の実情に応じた介護サービス基盤の整備に努めていきます。
16	公共交通が不便で困っている。今は車を運転できるが、将来、免許返納した時に不安である。交通手段がなく、免許を返納したら病院等にいけない。コミュニティバスがあればよい。	ご意見のとおり、地域公共交通の維持確保は重要な課題と捉えております。以前コミュニティバスの実証運行を実施しておりましたが、利用者が少ないなどの理由から本格運行には至りませんでした。 実証実験で得た市民の皆様からのご意見等を活かし交通空白地解消のための施策として、平成27年から「タクシー利用料金助成事業」を実施しております。内容は、市内で利用するタクシー料金が約4割引き（上限1,500円）になるタクシーチケットを月当たり8枚助成するものです。助成の対象となる方は、65歳以上の方、16～64歳の運転免許または車両を持っていない方です。ぜひご活用いただきたいと思います。

Ⅰ 令和6年度えびの市民意識調査（自由意見※特に多かった意見）に対する市の考え方・対応方針

	意見抜粋	市の考え方・対応方針（担当課回答）
17	電車やバスの本数を増やしてほしい。	本市において地域公共交通の維持確保は重要な課題と捉えています。現在は関係自治体などで構成する会議体において、電車やバスに対する利用促進策等の協議を行っておりますので、いただきましたご意見を参考とさせていただき、今後もより良い地域公共交通の在り方を模索していきます。
18	市公式LINEを充実させてほしい。断水情報などもタイムリーに共有してほしい。放送だけでは気付かない人がある。	市公式LINEで取得できる情報の拡充を図っていきます。
19	農用地の荒廃が発生すると思う。早めの対策支援が求められる。	遊休農地対策については、農業委員会が毎年農地の利用状況を調査し、遊休農地の発生防止や解消のための活動を行っています。引き続き農地中間管理事業を活用して農地の有効利用を推進します。
20	真幸アリーナのトイレが和式で狭く、使いにくく、洋式にしてほしい。水漏れしていたことがある。	真幸地区体育館トイレの洋式化等に必要な経費を、令和7年度当初予算に計上しました。所管する他の施設の洋式化についても、今後改善に努めていきたいと考えています。